

明けましておめでとうございます。同期諸兄姉の健康、ご多幸をお祈り致します。

3組佐々木兄から湘南の「初日の出」の写真メールを頂いて感激しましたが、改めて、太陽のことを思う機会を頂き、古来の太陽信仰が、今の自分にもあると感じましたので、報告してみたいと思います。

子供の頃は、裏山で初日の出を見て一年がはじまりましたが、現在地でも、毎年近くの丘から初日のご来光を拝んで、希望と元気をもらってきたように思います。

今年は100歳越えを目指す試みの一環として、寒がりで乾燥肌の自覚もあり、そろそろ冬場の早起きを止めてみようかと思い、ゆっくり起きましたが、2階の裏窓を開けると、北側の向こうの丘の森やマンション棟が、初日の光を受けて、明るく輝いているように見えて、やはり、太陽はありがたいと思う正月を迎えることができました。

人類史研究では、人類がアフリカから出て、東へ広がっていった要因の一つとして太陽信仰があり、太陽が昇る方へ移動して行ったとする説があるようですが、日いづる国の日本だけでなく、世界の各地に太陽信仰を示す遺跡や記録があるから、成程と思えて、太陽を尊びありがたいと思うのは、太陽の恩恵が自然科学的事実でもあり、組織宗教の枠を超えての信仰対象として、意識するか無意識かは別としても、世界中の人々が共有する普遍的なありがたい存在ではないかと、改めて思い至りました。

WEBで、日の出・日の入りの画像を検索したところ、日の出が2800万、入りが580万も

投稿されており、Facebookでは、今年のダイヤモンド富士も見ることができました。改めてこれからも、太陽や富士山を拝みながら、暮らしていこうと思ったところです。

以上